様式第２号（第４条関係）

豊明市行政評価制度　「事務事業」評価票

● ４段階評価結果	
	Ａ ： 上位目的である施策に貢献しているので継続する
	Ｂ ： 事務事業の実施手法や環境（予算的・人的）に改善が必要
	Ｃ ： 縮小等、事務事業としての見直しが必要
	Ｄ ： 事務事業の廃止が相当

１■事務事業の概要

１－１事務事業の名称	ボランティアの拡大事業							
１－２担当	部	教育部	課又は施設	図書館	係	図書係	評価票作成者	図書館次長（図書担当）服部英俊

１－３総合計画における施策の体系	①節	教育文化 「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」	③基本施策	図書館	コード	4―1―4
			④単位施策（中）	サービスの向上	コード	4―1―4―2
	②項	生涯学習の推進	⑤単位施策（小）	ボランティアの拡大	コード	4―1―4―2―2
１－４事務事業の目的の精査	対象と対象の数	図書館事業に対するボランティアの人数	意図（対象を事務事業によってどのような状態にするのか）	生涯学習の一環として、図書館事業の一部をボランティア活動していただき、地域社会に貢献してもらう。		
１－５事務事業の内容	自主的なボランティアグループまたは個人の活力で図書館事業の一部（おはなし会・読み聞かせ・本の修理等）をサポートしてもらい図書館サービスの向上を図る。					

２■事務事業実施の状況

		事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握	市民ニーズの認識
２－１事務事業の実施における基本認識	平成23年度	ボランティア活動をとおして社会貢献したい、自己実現したいという市民のニーズを受け止め、読み聞かせ・図書修理・ビデオ編集など図書館サービスへのボランティアとの協働をさらに進めた。		
	平成24年度	ボランティア活動など社会貢献したい市民のニーズを考慮して、読み聞かせ・図書修理・ビデオ編集など図書館サービスのボランティア活動を推進する。		
	平成25年度	ボランティア活動など社会貢献したい市民のニーズを考慮して、読み聞かせ・図書修理・ビデオ編集など図書館サービスのボランティア活動を推進した。		
	平成26年度			
	平成27年度			

２－２総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名	前期目標値（単位）	後期目標値（単位）	指標の説明
	図書館ボランティア数（人）	70（人）	１１０（人）	図書館事業をサポートしていただくボランティアの人数

２－３成果指標に係る活動実績とコストの推移（アウトプット分析）		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	活動実績ａ（人）	57	68	73	102	110	112	110	104		
	直接事業費ｂ（千円）	60	90	65	70	75	120	120	77		
	人件費ｃ（千円）	307	307	307	307	446	288	288	278		
	合計コストｄ（ｂ＋ｃ）（千円）	367	397	372	377	521	408	408	355		
	単位コストｄ／ａ（千円）	ボランティア1人当たり　6.4	ボランティア1人当たり　5.8	ボランティア1人当たり　5.1	ボランティア1人当たり　3.7	ボランティア1人当たり　4.7	ボランティア1人当たり　3.6	ボランティア1人当たり　3.7	ボランティア1人当たり　3.4	当たり	当たり

アウトプット実績（活動数値）の補足説明 → 担当職員が月8時間業務に携わるとして算定した。
人件費：2,900円（時間単価）×月８時間×12ヶ月×＝278,400円
直接事業費：講師料　読み聞かせ15,000円＋図書修理10,000円＋文学講座52,000円＝77,000円

２－４成果指標に対応する実績と達成度の推移		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	指標対応実績（人）	57	68	73	102	110	112	110	104		
	後期目標値に対する達成度（％）	51.8	61.8	66.4	92.7	100.0	112.0	100.0	94.5		

３■事務事業の自己評価結果

３－1　評価結果（アウトカム自己分析）		平成１８年度	平成１９年度	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度	平成２３年度	平成２４年度	平成２５年度	平成２６年度	平成２７年度
	単年度担当課評価	A	A	A	A	A	A	A	A		

3－2 現状・課題	他団体等との協働の有無・協働主体	☐市民（個人・家庭）	☐NPO・市民団体	☐区・町内会	☐企業・農協・商工会	☐学校	☐国・県・市町	☑その他　（ボランティア団体）	☐なし
	他団体等と協働し行った事業内容・各々が担った役割	市	図書館の読み聞かせ行事を企画、開催した。市内の関係ボランティアに呼びかけ、読み聞かせボランティアのレベルアップ講座を開催した。						
		その他	読み聞かせボランティアには、定期的に図書館行事に参加してもらい、企画運営を行っている。また、学校などの施設へ積極的に出向き、子どもたちの読書活動の支援を行っている。						
	事業実施により効果があったこと	ボランティアの活動場所を確保し、経験を積ませることで、読み聞かせの技術向上が図られた。							
	事業実施における課題	自主的なボランティア活動の実績を把握し、評価することが困難である。							
	課題に対する改善策	ボランティアとの意見交換の機会を増やし、活動実績を把握するとともに、活動しやすい環境を整えるために、資料や情報の提供で支援する。							

4 ■新規事業

新規事業	事務事業の目的達成のためにできる新たな取組み（可能な限り協働の視点重視）	ボランティアとの協働で市全体の読み聞かせ活動を推進するために、打合せや連絡などにより接点を増やしていく。	
	協働者となり得る主体・協働し担う役割	市	打合せ会の設定、練習会場の貸出、絵本・紙芝居など資料の貸出、活動場所の情報提供など。
		その他	読み聞かせなどの企画・実演、および提案。

5 ■事務事業の総合評価結果

		結果	審査会による改善方向の指示
総合評価の結果	平成25年度	A	ボランティアの活動機会・場所を増やして、身近な利用しやすい図書館となるようサービス向上に努めること。また、ボランティアの小学校への派遣も検討すること。

6 ■次年度事業への反映

事務事業の方向性内容	B　改善	ボランティアの活動機会・場所を増やすことで、市民が読書に親しみ、日常的に図書館を訪れるきっかけをつくる。 また、ボランティアの小学校への派遣を継続し、本に興味を持つ子どもを増やす。